

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てとり		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 27日		令和 8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	児童発達支援 5名 放課後等デイサービス 31名	(回答者数) 児童発達支援 3名 放課後等デイサービス 20名
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 27日		令和 8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	異年齢集団による生活の中で、発達段階に伴った情報提供を適切に伝えている。	保護者会の開催により、他とつながれるように促している。	保護者会に付随した保護者向けのサロンや定例会の開催を検討していく。
2	包括的な支援を実現できる段階を迫ったプログラムの実施が行える。	個の様子と意思にそぐうようなアセスメントから支援を組み立てている。	定められている日数や時間に関係なく情報共有をしていき、密な連絡を取り合えるようにしていく。
3	専門職員の配置によって質の向上が得られたことで将来に向けた支援方針の提供が可能なこと。	集団療育の中の個の時間が確保できる環境を職員全体で計画している。	多面的なアプローチができるように可能な限りで設備の充実を図る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	5領域に渡る支援が一度の療育時間内で困難でいること。	個での関わりを必要とする児が多いため、アプローチの選択肢が少ない。	外部へと積極的に研修を受講して見識を広げる。
2			
3			